

平成30年度
鳥取河川国道事務所事業概要



国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

1. 管理区間

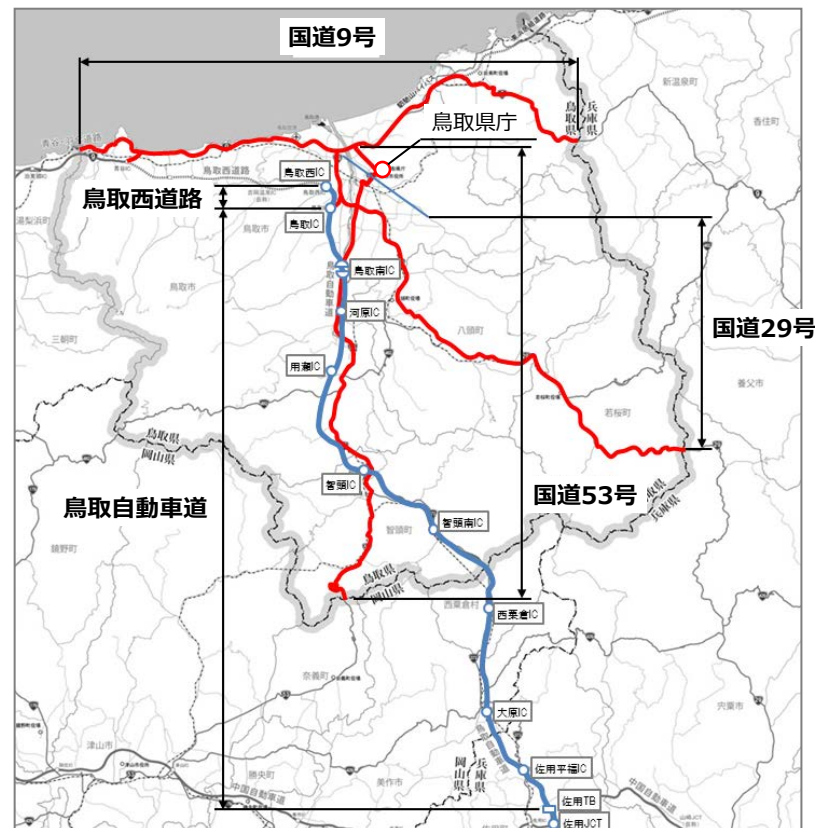
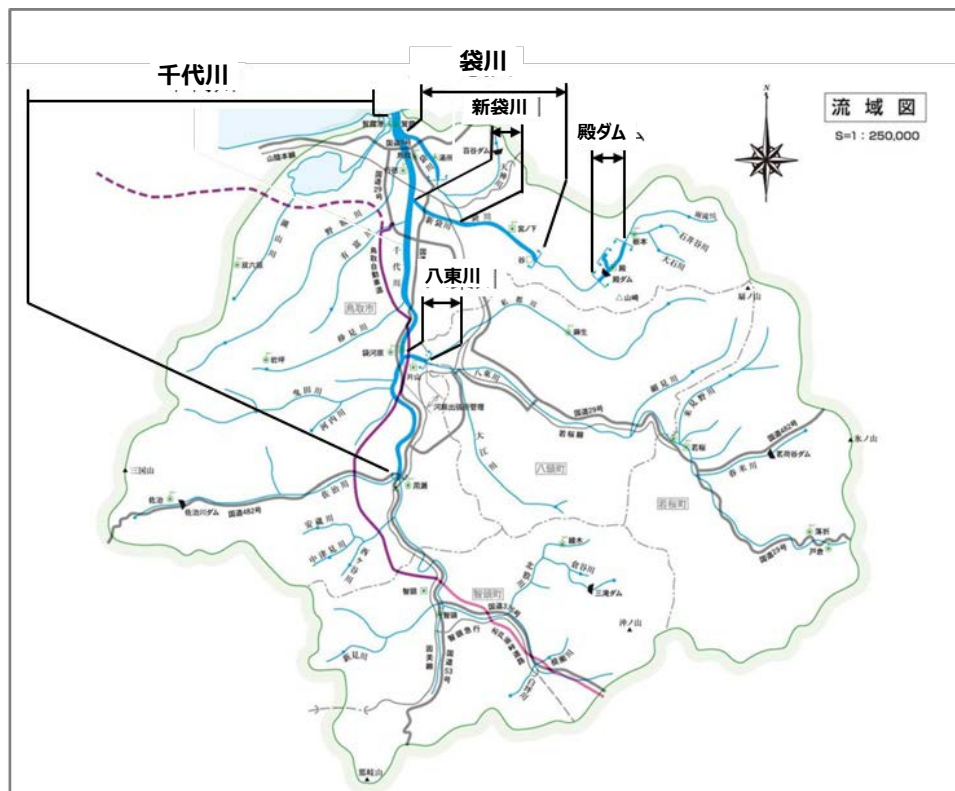
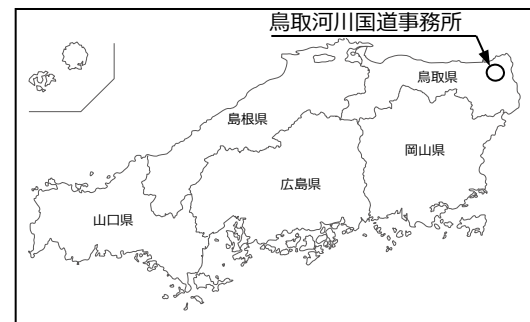
河川名	管理延長 (km)	路線名	管理延長 (km)
千代川	26.0	国道9号	52.8
袋川	9.9	国道29号	49.2
八東川	1.3	国道53号	46.6
新袋川	3.2	鳥取自動車道	61.8
合計	40.4	合計	210.3

※河川の管理延長に、ダム区間は含まない。

※国道9号の延長52.8kmには、鳥取西道路の延長1.8km及び駒馳山BPの7.7kmを含む。

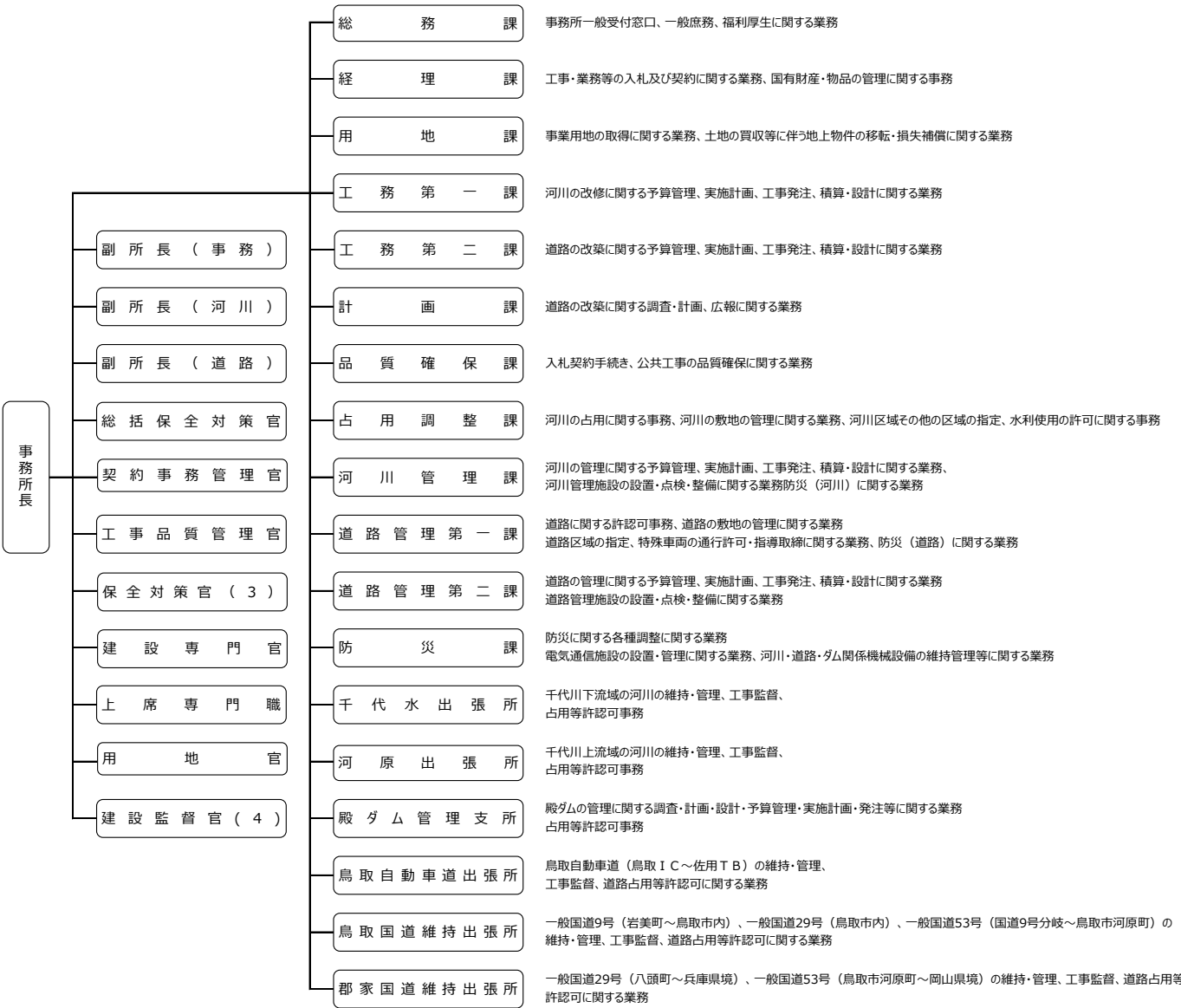
※鳥取自動車道の延長61.8kmには、国道373号（志戸坂峠道路）の延長18.7kmを含む。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



2. 組織及び人員

■ 組 織



■ 人 員

職員数	87名	事務	24名
		技術	63名

平成30年4月時点

3. 予算

(3) 予算

◆平成30年度予算

事務所全体 約113億円 (対前年 0.48) 100%

○ 河川 約 2億円 (" 0.87) 約 2%

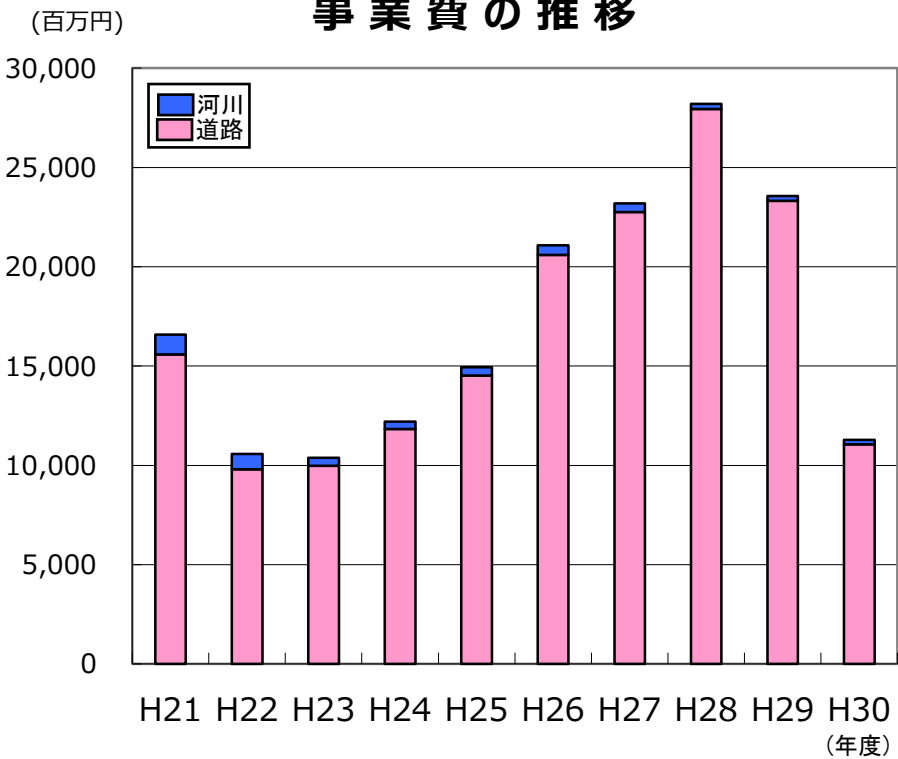
○ 道路 約111億円 (" 0.47) 約98%

事業費の比較

		事業費 (単位：百万円)		対前年比 (①／②)
		H30年度 (当初)	H29年度 (当初)	
		①当初	②当初	当初
河川事業	改修	197	220	0.90
	環境整備	0	10	—
	応急対策	21	20	1.05
	小計	218	250	0.87
道路事業	改築	10,431	22,950	0.45
	交通安全	255	267	0.96
	電線共同溝	377	98	3.85
	小計	11,063	23,315	0.47
合計		11,281	23,565	0.48

注) 1. 事業費には調査費、業務取扱費、災害復旧事業費を含まない。
2. 「交通安全」は交安一種及び事故対一種の合計金額。
3. 上記のほかに附帯・受託工事を施行する。

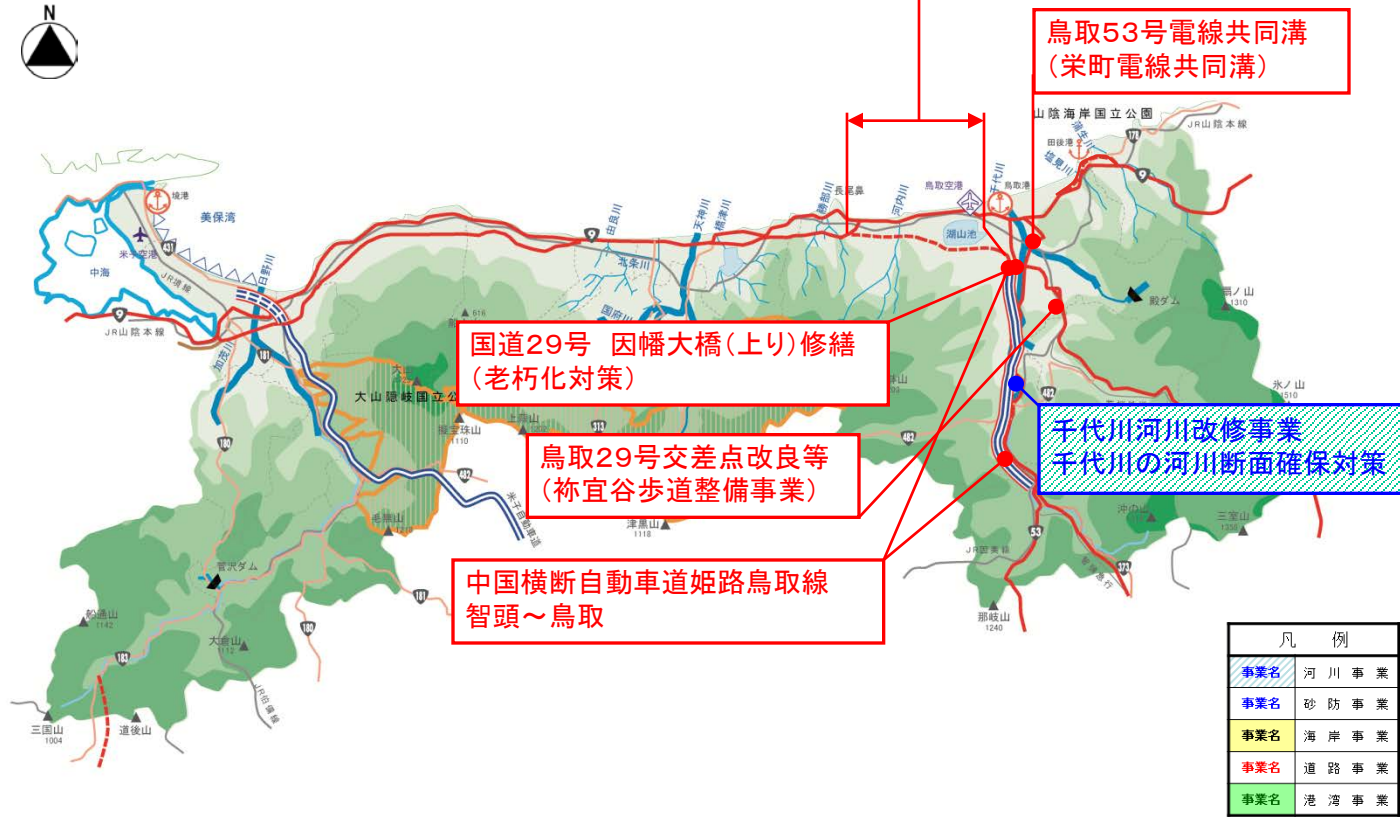
事業費の推移



(注) 1. H22年度以降の事業費には、河川維持修繕費、堰堤維持費、総合流域防災対策事業費、交安Ⅱ種、維持管理費等の地方整備局一括配分は含まない。
2. H22年度以降の事業費には業務取扱費を含まない。

4. 主要事業箇所

<位置図>



事業名	事業分類	完成予定年度等	ページ
千代川河川改修事業(千代川の河川断面確保対策)	河川	事業推進	5ページ
山陰道 鳥取西道路	道路	事業推進(H30部分開通)	6ページ
中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取	道路	事業推進	7ページ
鳥取29号交差点改良等(祢宜谷歩道整備事業)	道路	新規事業化	8ページ
鳥取53号電線共同溝(栄町電線共同溝)	道路	事業推進	9ページ
国道29号 因幡大橋(上り)修繕(老朽化対策)	道路	事業推進	10ページ

千代川の河川断面確保対策

1. 事業の必要性及び概要

せんだいがわ とくよし ようかいち

千代川水系の徳吉(八日市)地区は、固定堰による洪水時の水位のせき上げや河川内に堆積した土砂等により河川整備計画の目標に対し流下能力が不足しています。

このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、河道掘削を実施し、早期に治水安全度の向上を図ります。

事業推進

2. 事業箇所

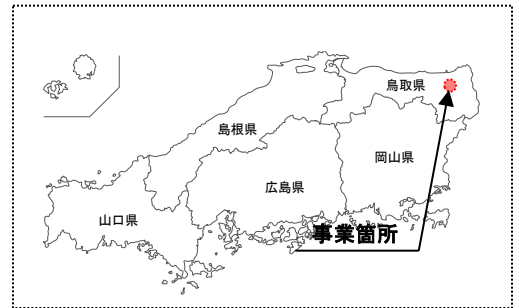
とっとり かわはらちよう ようかいち

鳥取県鳥取市河原町八日市地先

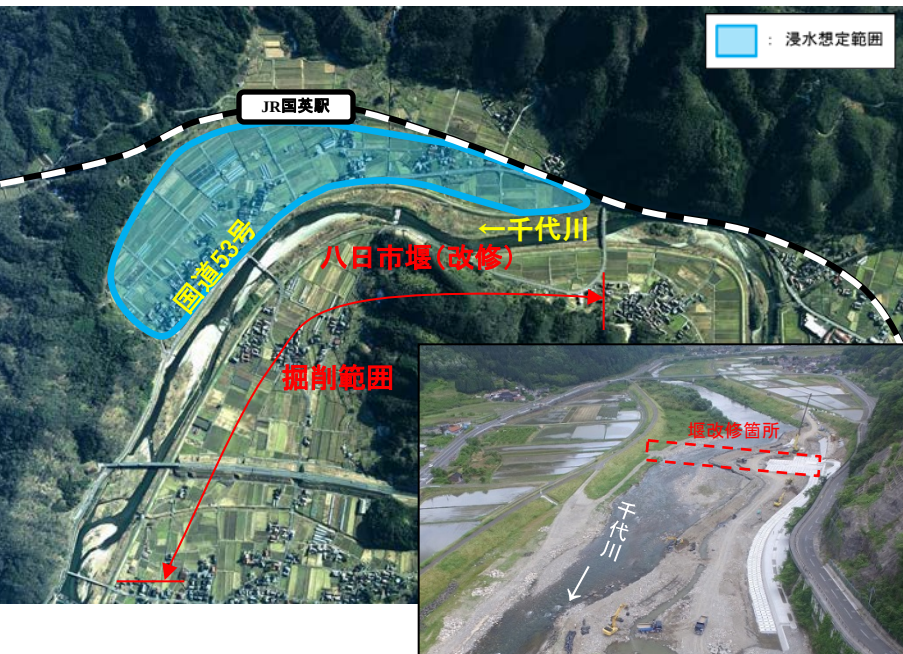
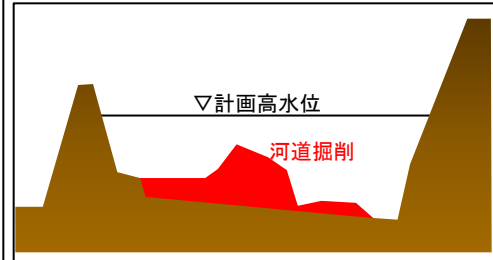
3. 平成30年度 予定事業内容

せんだいがわ とくよし ようかいち

千代川徳吉(八日市)地区において、河道掘削に伴う八日市堰の改修を実施します。



<整備イメージ>



<改修工事の状況>

4. 期待される整備効果

河道掘削等を実施することで、河川整備計画の目標である昭和54年10月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

とつとり にし

山陰道 鳥取西道路は、緊急時の代替路の確保、現道の渋滞解消、物流活動の支援等を目的とした、延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

とっとり

とだか

とつと

あゝ

よう あ

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷

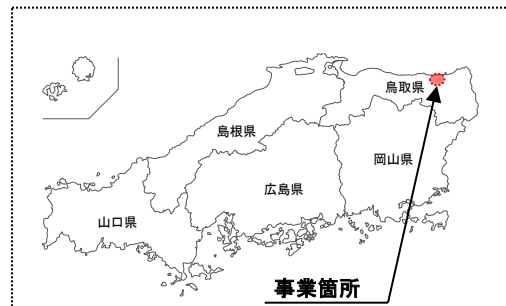
3. 平成30年度 予定事業内容

とっとり にし あお

あおや

鳥取西IC～青谷IC間の事業を実施中であり、改良工事、トンネル工事、橋梁工事、舗装工事等を推進します。

そのうち、^{とつとりにし}鳥取西IC～^{はまむら}浜村鹿野^{しかの}温泉IC間は平成30年内の
 開通、^{はまむら}浜村鹿野^{しかの}温泉IC～^{おんせん}青谷ICは平成31年夏迄の開通を
 目指します。



写真① 鳥取西IC付近



写真② 瑞穗宝木IC付近

4. 期待される整備効果

■インバウンド観光の支援

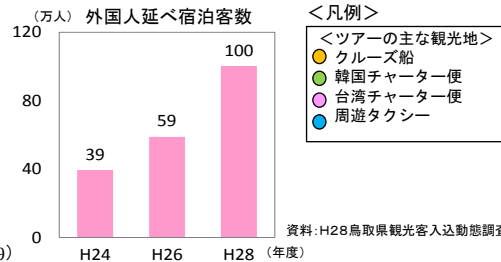
○鳥取県では、クルーズ船等の来訪増とともに、外国人観光客数が大きく増加していますが、移動時間の関係で県東部への周遊性が乏しい状況。

○鳥取西道路の整備による移動時間の短縮により、周遊性が向上し、外国人観光客数の増加に期待。

鳥取県におけるインバウンド観光の現状



クルーズ船(外国船籍)の寄港(境港 H29. 9)



資料：H28鳥取県観光客入込動態調査

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中国横断自動車道^{ひめじ とっとり}姫路鳥取線では、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、走行阻害箇所の走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

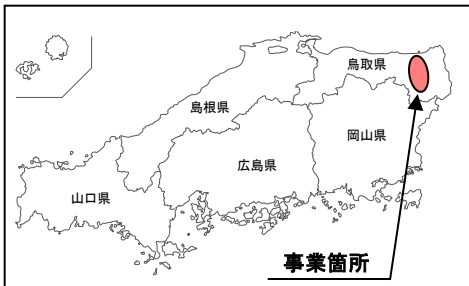
2. 事業箇所

鳥取県^{や ず ぐん}八頭郡^{ちづ ちょう}智頭町^{いちのせ}市瀬^{もとだか}～鳥取市本高（智頭IC～鳥取IC）

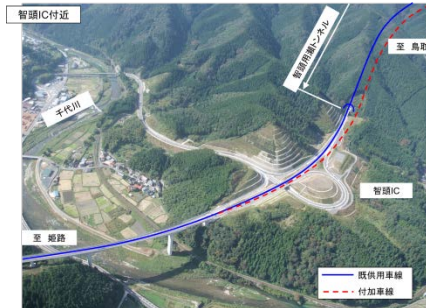
3. 平成30年度 予定事業内容

平成30年度は、智頭IC～鳥取IC間の改良工事、橋梁工事及びトンネル工事等を推進します。

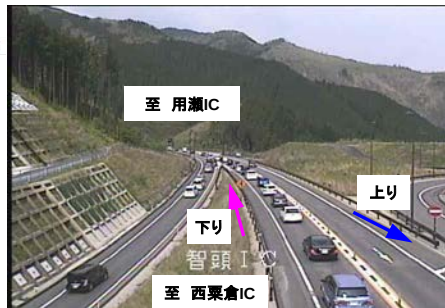
位置図



現況写真



写真① 智頭IC付近



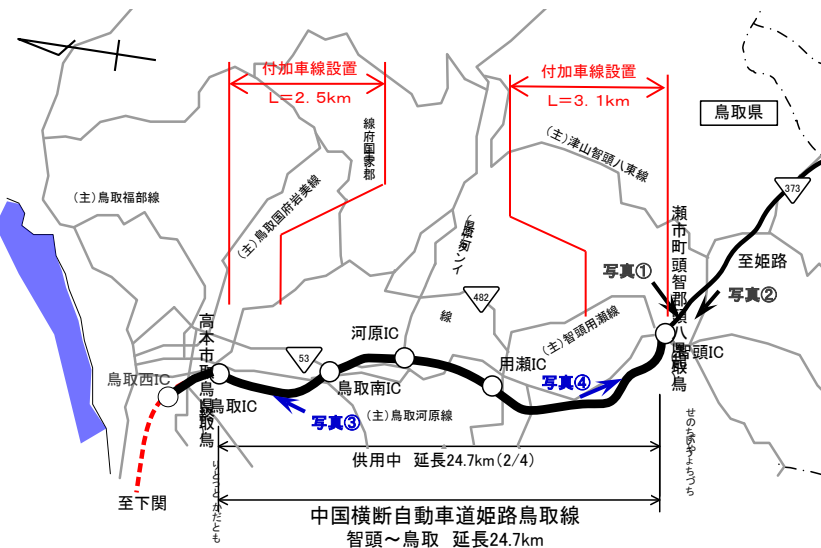
写真② H25.5.4智頭IC下り線ONランプ

工事状況写真

写真③ 施工状況(下味野地区)



写真④ 施工状況(川中地区)



鳥取29号交差点改良等 (^{ねぎだに} 祢宜谷歩道整備)

事業費57百万円

新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

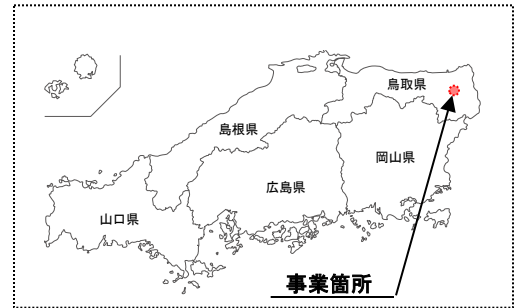
当該箇所は、国道29号の鳥取市と八頭郡八頭町境付近に位置し、八頭町堀越、稲荷集落及び、鳥取市青葉台団地から各公共交通機関の結節点へのアクセス道として利用されている。しかし、歩道幅員が狭く、一部無歩道区間もあり、歩行者が危険な状態におかれている。そのため、歩道の整備を行うものである。

2. 事業箇所

とっとりしねぎだに
鳥取県鳥取市祢宜谷

3. 平成30年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



【現況横断面図】



【完成予想横断面図】



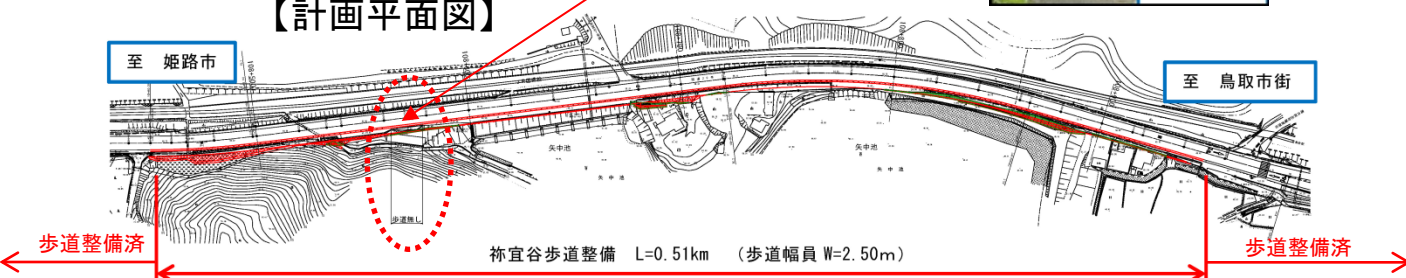
無歩道箇所



歩行者が危険！

当該箇所前後の歩道は既に整備され、当区間が整備されれば、整備済の歩道がつながり、歩行者が安全且つ安心して通行できる！

【計画平面図】



無電柱化

1. 事業の必要性及び概要

さかえまち

栄町を無電柱化することで、良好な都市景観の形成や、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

とっとり とっとり さかえまち もとまち
鳥取県鳥取市栄町～同市元町

3. 平成30年度 予定事業内容

調査設計、本体工事、引込管工事、連系管路工事、路面復旧工事を行います。

栄町電線共同溝



全景



対策事例

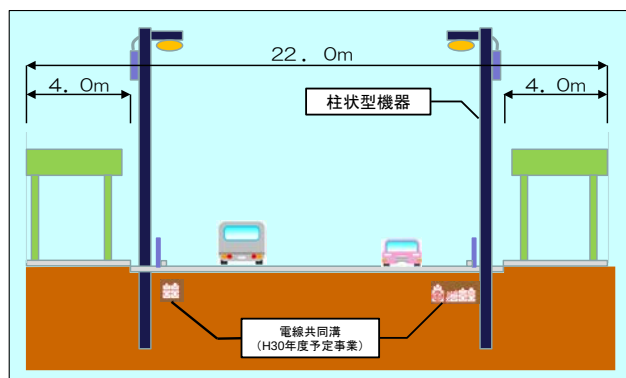


対策前・後(イメージ)

対策前

対策後
(柱状型機器)

対策(横断面図)



老朽化対策

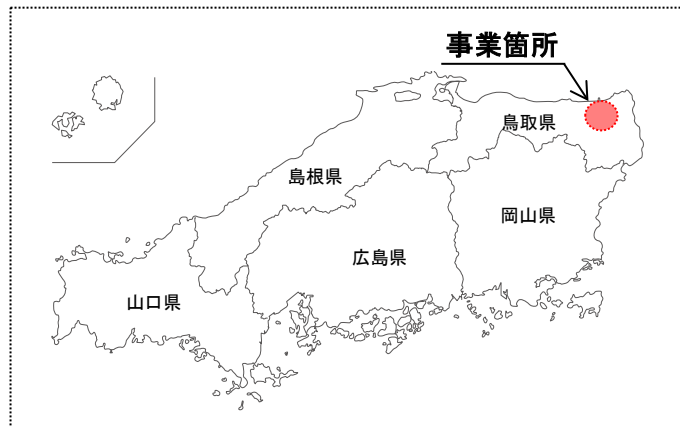
1. 事業の必要性及び概要

定期点検・診断の結果により、修繕が必要と判断された因幡大橋(上り)の修繕を実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

いなばおおはし(のぼり)

2. 事業箇所

一般国道29号 因幡大橋(上り) (1985年完成)
とっとり とっとり かのう はっとり
 (鳥取県鳥取市叶～服部)



3. 平成30年度 予定事業内容

当該橋梁は、床版のひび割れや漏水による床版の損傷から舗装の劣化等が発生しています。H26実施の定期点検・診断を踏まえ、橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修の必要があると判断し、平成30年度当初予算により、床版補修工、舗装補修工などの修繕を行い、橋梁の長寿命化を図ります。

全景

至 姫路市



損傷状況(床版のひび割れ)



損傷状況(舗装の再劣化①)



損傷状況(舗装の再劣化②)

